令和6年度吹田市第3次環境基本計画 環境施策の実績一覧

令和7年3月3|日現在

この冊子について

本冊子は、目標の達成に向けて実施する個々の施策(環境施策)の進捗状況と市による自己評価をまとめたものです。

施策ごとに令和6年度(2024年度)と令和5年度(2023年度)の実績を比較して評価を行い、 その理由や見解を示しています。

【評価について】

次ページ以降の評価については、令和元年度の環境施策の実績と比較し、以下のとおり評価しています。

- 〇:取組が進んだ(新規事業の実施や取組内容の改善・拡充により取組が進んだ場合)
- △:変化なし(事業が継続されて実施されているなど、取組に大きな変化がなかった場合)
- ×:後退した(事業の廃止や縮小、その他の理由により取組が後退した場合)
- -:比較できない(事業内容の変更等により比較ができないなど、上記の3つに当てはまらない場合)

				令和6年度の実績			令和5年度の実績(参考)
施策の柱	施策	担当空課	自己評価	令和6年度の実績及び評価の理由	備考	施箱	令和5年度の実績及び評価の理由 備考
	学校での環境教育の推進		0	・福前首都出名を大型加工。出一月・市からの出途、瑞典教育の出前授業等の紹介、各校 の指導を共享・福達部所の記載を行うた。 セガトープルッツを1 おくて出た。 ・学業開発 2 0 代、おり三二人出生が見、パケツ組をおくて実施。 ・丁コスクール場響(環境の治療デェッシート)を活用し、金介・中学校5 4 代におい で、元度 - 生活、発向のエコレドする最高の加上を切った。 ・電響等解散を全 位別 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		学校での環境教育の推進	- 職職有所協議会を200支際。 第一府・市からの企業・職職首向の出前改集等の総介、各核の助組を共将、 環境制度の対象を十二人 環境制度の対象を十二人 ・ ビイナーンをからする。 ・ ビイナーンをからまます。 ・ デ重無数を20所、区内12年末期を1.2度、パケツ種を9 校で実施。 ・ デ重無数を20所、区内12年末期を1.2度、パケツ種を9 校で実施。 ・ デ重無数を20所、区内12年末期を1.2度、パケツ種を9 校で実施。 ・ エコスタール基準度 (環境の施計・エッタン・ト)を活用し、金小・中学校5.4 校において、児童・生徒・ 発展のエニレザする原理の地と使う。た。 ・ 環境学報報を全く送別・ 干部リタイクルプラヴと連携・開催した。 電報学報報を名に参加するために、各 校で発産・生技が環境等級の成業物を介成した。動脈の部小学校2位、中学校1代、展示の部小学校1.4 校、 中学校1.1 位所、
持続可能フ なライフ スタはす を実人材を "はぐく む"	環境に関する信発活動及ひイベ ント等の開催	環境政策臺	0	1 三新版報問版である「アジェンダ21すいた」において、ライフスタイルや専業活動の接触をかざし、形態、事業者、日本の機により、平成の基準イベントで開発基を行った。 地球業職化力はに関助に関策である「ディシューター」 ・使用型力を大規矩策でよりなうことにより、COが開出目ばせ口で開催するイベント 「可いたムープライトコンサート」 ・ 環境研究の実施上接会 ・ 環境研究の実施上接会 ・ 環境研究の大力がなり、経済を対し、TOMの表現が成功を対しませます。 ・ 環境研究の大力がなり、不成の表現が成功を対し、実施を対し、実施が関係となって、実施が関係となって、実施が関係となって、また。 ・ は、日本の表現が、日本の表		環境に関する情発活動及びイベ ント等の開催	1 三者制御側である「アウェンダン1 すいた」に対いて、ライフスタイルや事業系動の起始をあざし、市民、業業 ・「天安の間風により、下原の各様へという性別を発き行った。 ・ 地形型が発生して取り組に開設である「すいたウールシースクイーク」 ・ が限力を基準をしまいない。 ・ はいたムーンライトコンサート」 ・ 世界内では、日本のサインフィートは ・ 世界内では、日本のサインフィートは ・ 世界内では、日本のサインフィートは ・ 世界内では、日本のサインフィートは ・ 自然ロス相似に対する解析が、など、その他、物語かや環境などが発酵性。 ・ 自然ロス相似に対する解析が、など、その他、物語かや環境などが発酵性。 ・ 自然ロス相似に対する解析が、など、その他、物語かで環境などが発酵性。 ・ 自然ロス相似に対する解析が、など、その他、物語が自然のは、対して、カールスカウト大原作立1回 ・ 大田の田田の加田のは対する原理がある様のはいまいが、イマを対象して、カールスカウト大原作立1回 ・ とだし、田田田の加田のは対するがある機能を行った。 ・ 実施しているでは、中央では、中央では、中央では、日本のよりでは、ロンドルバック・ファイン ・ 実施しているに対し、日本のとは、日本のとは、日本のよりでは、ロンドルバック・ファイン ・ 実施しているに対し、日本のとは、日本のよりには、日本のよりには、ロンドルバック・ファイン ・ 日本のよりには、エンドルバルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルドルド
				6 東班系エルの延星・再貨商化を促進するため、危風口ス間は極度「FTOFIORへ物を力 たしたもの子でしまったからへら等でったとれない」と実際系元の機器両面所に関係 「D 人工ですると他の内側(であたいない)」と実際系元の機器内面所に関係 「D 人工ですると他の人間(であたいない)」を以上への機器が上でかり、を実施した。 18 市民で事業の機能機能をさらに対上させるため、「EITを制化における自己にス関係以下 18 市民で事業の機能機能をでは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本			
t t		学校教育室	0	環境学習発表会は環境教育フェアと同時開催。干里リサイクルプラザHPにて学習の成果物 (動画) を期間限定で開覧できるようにした。			環境学習発表会は環境教育フェアと同時開催。干里リサイクルプラザHPにて学習の成果物(動薬)を期間限 定で開発できるようにした。
<	地域において環境保全活動を担	環境政策室	0	企業と共同しすいた環境サポーター養成議座を開催した。(受講者9名)		地域において環境保全活動を担	市HPで公開中のWeb版すいた環境サポーター養成講座に掲載する動画を一部変更した(令和5年度の合格者
e e	う人材の育成 木育の推進	環境政策至	Δ	資源リサイクルセンターの木工工房にて、来館者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境 を設けている。また、指定管理者にて、木工教室や木工体験イベント等木育につながる歌組を 実施している。		ラ人材の育成 木育の推進	数は4名)。 取取りワイクルセンターの不上上別にく、米面省の設定に不材に現れ、作品を制作できる場項を続けている。 また、指定管理者にて、不工資金や不工保験イベント等未育につながる副能を実施している。 「学りに環境報告する大学のとなった。 「学りに環境報告」なるなのとは、各種の登場を表しない。
		保育・教育を所 管する空課		本育の一環として、保護者・幼児・小学生が「まちなかリビング北干里」の建築材料として多 く使われている能勢町の木の像材をサンドペーパーで磨き、橋み木を作製する。 地区公民数半確議際は、廃油品給作りやSDGsについて等、18編集業施。			「一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	地域における環境学習の推進	まなびの支援課	_	職員派遣講座(出前講座)は、環境に関する依頼がなかったため、実績なし。		地域における環境学習の推進	職員派遣講座 (出前講座) で、環境に関する依頼がなかったため、実績なし。
	環境マネジメントシステムの導	環境政策室	Δ	大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議を開催し、各団体のエネルギー 消費状況の推移やキャンパス等での取組等について共有した。		環境マネジメントシステムの導	大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議を開催し、各団体のエネルギー消費状況の推移 やキャンパス等での取組等について共有した。
	入促進	地域経済振興室	Δ	令和6年度 エコアクション21認証取得事業補助金の交付実績は0件でした。		入促進	令和5年度 エコアクション21総証取得事業補助金の交付実績は0件でした。今後も補助金制度の周知を図り
環境に配 慮したビ ジネスス タイルに 取り組む	環境配慮行動に関する啓発活動 の推進	環境政策至	Δ	多無別出去有506等業官に対し、こみ被国でニュアルを付けた。 等級にこのの指導、再成的化を投資するため、事業所一般実際的別出版が151以上の等機 有を対象に研修や実施した。 初期中的所に対する分別開発については、市的所も行き工事により、実施していない、 環境まちてくの影響性機能化により、環境影響性機能を上側し、(保険)以取対策、平 電影響性機能を開発を表現した。		環境配慮行動に関する啓発活動 の推進	ます。 庭原リサイクルセンターの木工工房にて、実営者が自省に木材に触れ、作品を制作できる環境を設けている。 また、指定管理者にて、木工賞室や木工体制イベント等木育につながる取組を製造している。 環境よちづくり等割件機会例に基づき、環境影響評価書音を全機の(、(係))工場計画、干率非常合理地関 物用生物能に質する結果。(復称)を理用上間開発事業や、作用子直上地区震物理事業。(復称)を取計・由 物用生物能に質する結果。(復称)を理用上間開発事業や、作用子直上地区震物理事業。(復称)を取計・由
事業者を "はぐく む"			0	地区活性化非単に関する番濡、(仮称)吹田円山町開発事業や、佐井寺西土地区開整理事業、 (仮称)吹田市勝白色5丁目計蔵に係る事準調度の構能等を行った。 環境まちづくりガイドライン (開発・建築質)を進用し、市内で開発や建築などを行おうとす る事業者に対し、環境への取譲の検討なび実施を求めた。			計画に係る等級側面の機能等を行うた。 環境を対くの方がドライン(関係・建築版)を選用し、市内で開発や建築などを行わうとする事業報に対 し、環境への配わら対抗と対策能を求めた。
	事業者に向けた事業活動転換の 促進策の検討・推進	環境政策室	-	実績なし		事業者に向けた事業活動転換の 促進第の検討・推進	実績なし
	事業者の環境意識向上に向けた	環境政策室	-	実績なし		事業者の環境意識向上に向けた	実績なし
環境を中	啓発・取組指連 市民・事業者・市民団体等と協 働した取組の推進及び支援	地域経済振興至 環境政策至 市民自治推進至 学校教育至	0	製造など、 市民・事業者・行政の二番協範制度であるアシェング2: すいたの物間を推進した。 ・会費度: 個人会第23名、協会会員は60体 ・ おいた場覧報子スク2025と参加 ・ 市かり大学をと思うし、エコレラーの房行年4回 ・ 市かり大学をと思うし、エコレラーの房行年4回 ・ 市かり大学をと思うし、エコレラーの房で4回 ・ 市かり市業かの近大学は、、 ・市かり市業かの近大学は、、 ・市がの事業かの近大学は、、 ・ 市がの事業かの近大学は、、 ・ 大島口ス海球のからせて、「すいたのより登録)の需要とは、「すいたなべき)薄 制」の推進な方成の態度を行い、最新状況を創責した結果、品籍似ら会和7年3月末年在で39 成成となった。		部発・取組推進 市民・事業者・市民団体等と協	製成は、 ・
心とした 多様な主 体とのつ ながりを "はぐく む"	製した吸収の推進及び交換 大学・研究機関と連携した環境	子校教育堂 まなびの支援課 公園みどり室	Δ - - 0 -	・角面に入剤師の物度として、「すいた例へ等り運動」の開業をした。「すいた例へきり運動」の開業を入力値である。 動」の選集が力点の想要を行い、最新状況を創意した結果。店舗飲は今和7年3月本外点でSRG 接となった。 天城はし 天城はし 天城はし 大城は人 大坂は、 大塚は、 大がな		働した取組の推進及び支援 大学・研究機関と連携した環境	実績なし 実績なし 実績なし 電明学習時を含む、公益財団を人と連携、平富リサイクルプラヴにで学品の成果物 (動画) を上映し、HPで も周辺限定で関係できるようにした。 実績なし
	に配慮した取組の推進及び啓発	環境政策室	0	大阪大学と連携し、NATSや近畿経済産業局、近畿地方環境事務所とフューチャーデザインを 導入したワークショップを実施した。		に配慮した取組の推進及び啓発	大阪大学と連携し、令和6年度に向けて、NATSの職員で広域的な施策に関するフューチャー・デザインを実 施するため、調整を行った。
	活動 近隣市町村との地域循環共生圏	環境政策室		本市と能勢町との地域循環共生圏の構築に向け、小学生を対象とした森と生き物のつながりや		活動 近路市町村との地域循環井牛側	本市と能勢町との地域循環共生圏の構築に向け、小学生を対象とした森と生き物のつながりや大切さを学ぶイ
	構築に寄与する活動の推進	自治体間交流を 推進する容課		大切さを学ぶイベントである「重山デイキャンブ in NOSE」を能勢可で開催した。 実績なし		構築に寄与する活動の推進	ベントである「重山デイキャンプ in NOSE」を総勢町で開催した。 実績なし

				令和6年度の実績		令和5年度の実績(参考)	
	再生可能エネルギーの活用・設 備の導入	環境政策至	Δ	「太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業」では、ホームページ等の媒体を介して 周知を行った。	再生可能エネルギーの活用・設 備の導入	「太陽大祭復及び編電市システムの井町購入支援季職」では、ホームペーシ等の媒体を介して問題を行った。 「再生可能エネルギー比本の高い電気のグループ購入季職」は、ウクライナ情勢等の影響により、令和3年度、4年度に続き、令和5年度を中止となった。	
	公共施設における本先実行 (第エネルギー、首エネル ギー、再生が展エネルギー、音 資源)	環境政策至	Δ	【発生可能エネルギー 設備の発生 組織で協能の確認及び大規模が終年に、特殊の等情がない限り、再生可能エネルギーを導入 まることはどに展示的機能においても、機能的に再生可能エネルギーの導入を認ることを指定 文で基のでいる。 ・ 今間の有限の導入実施 > ・ ドルル学界: 北海水発電 (24.57kW) ・ 水水学: 北海水発電 (24.57kW) ・ 水水学: 北海水発電 (20.00W) ・ 水水学: 北海水水電 (10.00W) ・ 最新音中学校: 大海水水電 (10.00W) ・ 最新音中学校: 大海水水電 (10.00W) ・ 最新音中学校: 大海水水電 (10.00W) ・ 日本学校: 大海水流水電力が表示。 ・ 日本学校: 大海水流水で表示。 ・ 日本学校: 大海水流水電力が表示。 ・ 日本学校: 大海水流水で表示。 ・ 日本学校: 大海水流水電力が表示。 ・ 日本学校: 大海水流水で表示。 ・ 日本学校: 大海水流水電力が表示。 ・ 日本学校: 大海水流水で表示。 ・ 日本学校: 大海水流水で表	公共施設における年先実行 (仮エネルギー、省エネル ギー、再生司能エネルギー、省 周別)	「同意可能工みルギー設備の得入」 動設や金融の部位区グ大規模が増加に、特別の事情がない場り、同意可能エネルギーを得入すること並びに関わり施設においても、機能が「原来で見まった。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
未来につながる環		施設を所管する 空課	-	英様なし		[期生可能工名儿子—設備の導入] 佐竹台小学校 太陽光発電 10kWを導入 南山台中学校 太陽光発電 10kWを導入	
境を"ま もる"			Δ	【再生司能工ネルギー設備の導入】 安田第三小学校 太陽光発電 10kWを導入 野津西中学校 太陽光発電 10kWを導入			
			-	実績なし			
	エネルギー消費量削減にむけた 啓発活動及び情報提供	環境政策室		令和5年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をホームページに掲載すること により、省エネルギー機器等の導入についての啓発を行っている。	エネルギー消費量削減にむけた 啓発活動及び情報提供	令和4年度に引き続き、吹田市環境まちづくりガイドライン等をホームページに掲載することにより、省エネルギー機器等の導入についての密発を行っている。	
# to 55	ごみの削減や再利用に向けた器 発活動及び精報提供	環境政策至	Δ	報告者と比較すると、業務第二かの団出量は減少し、需算化ごかの団出量は専門した。1人1 日あたりの江外の団出量は減少した、リサイヴリネは増加した。 実施元づかの選金、再算能化を促進するとめ、施品立式指揮機能(すぐられるか、物を力たし ためのティーペネカロテヘッサでもったいない)」と認識により機能再算能化減率(「みんな でするみがロアはかい(そのとはない)」を以上、ごかは第一人プロージージを実施した。 研究であるので開発したして報道が、日本のは一プロージージを表施した。 研究で事業の保護制度が多かを2回実施した。 研究で事業の保護制度を200円ませたが、1世紀地域における食品口ス関域及び容器 包装性含めたプラスキックに任意課題を必要がに対する協定)を結婚し、さらならごか研 減にはずるの配性をからしたを促進するため、事業系一般策略の出生量が1.5 に以上の事業 ませたがまい研究を支援した。 の内は、事業などの経過・再算能化取り担び(別由のこか、規事可能化度 地会別(1、「表別と記載した。	ごみの原連や両科用に向けた修 税活動及び精報提供	報等者と比較すると、事業系工の外出機はお申り、事業系ごかの開出機は機関した。1人1日かたりのごかの開出機は構りした。リサイクル率は減少した。 現場によるの機能・再算能化を使ぎずらため、食品口ス間減機能(GARADA (はカラグ) にうれしいアップ サイクルフート、ラリンに学の活動に対し、と概念化ご外域無限資産化機能 プラスチックとどう月生していい かったルスでリウイルのようなも、「全機を加入が、 市民を対象とした環境施設が学会を2 国際施した。 市民で特象なの構造機能をさらた。「北側や地における魚田口ス間は及び容器の様を含めたプラスチッツにある方の機能・直接を心を対しませなどか、「北側や地域と、「北側で開発を対象に関係なる機能」、これの経・再算能化を対象といる。 事業系工の機能・再算を対象とするため、事業系一般複数的の開出機がよりましたの事業を対象に関係を表現した。 市民・事務を・行政が三名指揮では対象という。	
		事業課	Δ	事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を 行った。 (333回)		事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を行った。 (355 回)	
	生物多様性の保全への理解を深 めるための効果的なイベントの 実施及び啓発活動	環境政策室	0	希少種である「ヒメポタル」の発光調査体験を実施した。 花とみどりのフェアにて、昆虫を通して生物多様性を啓発するイベント「むし虫探検療」を実 施した。	生物多様性の保全への理解を深 めるための効果的なイベントの 実施及び啓発活動	希少様である「ヒメボタル」の発光調査体験を実施した。 花とみどりのフェアにて、昆虫を適して生物多様性を啓発するイベント「むし虫探検弾」を実施した。	
		公園みどり至	Δ	令和6年度は、大規模開発事業で遊園3箇所を開設。		令和5年度は、大規模開発事業で公園1箇所を開設。遊園については2箇所を開設。	
		道路室	Δ	吹田市道路・公園樹木適正管理指針に沿った街路樹の管理(令和6年度、街路樹盤備実績な し。)		吹田市道路・公園樹木適正管理指針に沿った街路樹の管理(令和5年度、街路樹整偏実績なし。)	
市民に とっての 憩いの空	緑化の推進、緑地の保全	環境政策室	0	現境まちづくりガイドライン [開発・鍵基版] により、市内で開発や建築などを行おうとする 季業者に対し、計画の早い現場から、既存の植生の保全、地域に応じたみどりの創出、歴上様 化などの項目を挙げて、検討及び実施することを求めた。	緑化の推進、緑地の保全	環境まちづくりガイドライン (関発・建築版) により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、 計画の中、頃間から、既存の植生の保全、地域に応じたみどりの創出、歴上縁化などの項目を挙げて、検討及 び実施することを求めた。	
間を"ま もる"	水路等の清掃による環境保全	管路保全至	0	管路包括委託にて、適切な時期を進んで計画的に水路清掃を実施した。また河川管理者と協働 し糸田川の河川清掃(年3回)を行い、その内の1回は、糸田川に隣接する自治会等が参加する 糸田川クリーン活動を行った。	水路等の清掃による環境保全	管務の民委托にて、適切な時期を選んで計画的に本部計略を実施した。また河川管理者と協働し条田川の河川 清排(年3回)を行い、その内の1回は、糸田川に開接する自治会等が参加する糸田川クリーン活動を行っ た。	
	特定外来生物の前除	環境政策室	0	特定外系植物(生にオオキンケイギウ)の発生について、情報提供が吊民からあった場合に、 当試施設等の管理者が本布である場合は包含者である返逐へ服除危機を行っている。 アライグマの目撃情報を拒絶がに発信することで注意地品を促している。また、アライグマの	特定外来生物の納除	特定外来顧問(生にオオキンクイギク)の発生について、情報提供が市民からあった場合に、当該施設等の管理者が本作である場合は習貨者である宣連・国際経験を行っている。 アライグでの目標的を推動的に発情することで注意機及を受している。また、アライグでの捕獲器の貸し出した行い、個体数の減少を図っている。(令和5年度 措置調教 56億)	
			0	アライシャの日季同様を快極がに完備することで注意明度を受している。また、アライシャの 捕獲器の貸し出しを行い、個体数の減少を図っている。(令和6年度 措置頭数 67頭)			

				令和6年度の実績			令和5年度の実績(参考)		
	防災意識の向上への敬紹推進	危機管理室	0	地域の自治会や小・中学生などを対象とした出前講座を70回実施。また、地域防災リーダー育 成講習を実施し、新たに地域防災リーダーとして44名を登録。		防災意識の向上への取組推進	地域の自治会や小・中学生などを対象とした出前講座を51 回実施。また、地域防災リーダー育成講習を実施 し、新たに地域防災リーダーとして30名を登録。		
	応急給水体制の向上への取組推 進	水道部総務室	0	自治会等と災害時能水所設置訓練を4ケ所実施した。また、イベント等において当部が作成し た防災手機を配布したり、応急能水施設のパネルや非常用数料水袋を展示したりする等、応急 能水を受ける方法や災害時における水の備蓄量等について啓発活動を行った。		応急給水体制の向上への歌組推 進	自治会会と災害等総水所は高調機を80万実施した。また、イベント等において協助が作成した物が手機を配 布したり、広急船水振線のパネルや非常用数料水袋を展示したりする等、広急船水を受ける方法や災害時にお ける水の衛温電客について管外近側を行った。		
			-	実績なし					
気候変動 による大 規模災害 に"そな	防災拠点をはじめとした公共施 設における大規模災害時の自 立・分散型エネルギー確保に向	危機管理室 環境政策室	-	英級なし		防災拠点をはじめとした公共施 設における大規模災害時の自 立・分散型エネルギー確保に向	実施なし		
える"	けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源段機の 導入推進	施設を所管する 至課	-	実績なし		けた、再生可能エネルギーと蓄 電池を組み合わせた電源段偏の 導入推進			
			-	実績なし					
	大雨時の浸水防止のための整備 推進	管路保全室	0	過去に浸水被害があった、岸部・千里山・春日・千里丘・山田南地区において大南浸水対策工 事をそれぞれ進めている。		大雨時の浸水防止のための整備 推進	市内南部の中の島・片山工区において分水施設整備を完了した。また市内南部の岸部処理分区において下水道 幹線整備を進めている。		
		計画調整至 道路至 地域整備推進卒	Δ	実績なし 季道議長要取工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性議長の整備 に努めており、今後も引き続き行う予定である。 令和6年度透水性締結版工順信(道路至施工り): 4,569㎡ 上の川上面整理下車番子(後歩直流水柱・グターロッキングブロック)	R7年度完成予定	E	実施なし 季道議長便来工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性議長の整備に努めており、 今後も51世級者行う予定である。 参照を52世級者が住場所施工課時(道路室施工分): 3,486㎡ 令服54度変形性場所施工課時(道路室施工分): 3,486㎡	の川周辺整備事業	
ヒートア イランド 現象に "そなえ る"	建築物・道路・駐車場の高温抑 制の推進 (高反射性道茶、透水性・保水 性・遮熱性藤茶、駐車場縁化 等)及びクールスポットの創出	環境政策至	0	収田市福里キラブ(の力イトライ) (開発・福知園) に乗づき。2分指版の印象、大規模の修 の間に、最と、電影性が「電力機能等とこる部分が採取びませんするようでは、 おりません。 日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、		建築物・道路・駐車場の高温却 制の推進 (高反射性道茶、透水性・保水 性・遮熱性舗茶、駐車場緑化 等)及びクールスポットの創出	SARDEX/安田市場県主ラブくのカイドライン (開発・建設型) に思う法。公林院の中部、大規範の体の信 には、是 1・信頼が内板が開発を得ることが、日本の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の		
		施設を所管する 空課	ο Δ	序部中在任名 3号館の外標及び種上の修工事において、屋上面を高及射接料の連布により高勢 対策を行った。 大規模改造工事など屋上面の改修工事を実施した小中学校において、高及射速料の連布により 高勢対策を行った。 実践はし			大規模改造工事など屋上面の改修工事を実施した小中学校において、高双射造料の連布により高熱対策を行った。		
ヒートア	公園・街路樹の整備及び管理、	公園みどり室	Δ	次田市開発事業の予核等に関する条例により、市内で開発を行おうとする事業者に対して(緑 化の建築号)として編集)として編集と、規能された件数、 各和6年度万円実施 屋上除化(1件)、原面除化(7件)		公園・街路樹の整備及び管理、	令赵年度完了英禧 歷上終化(1件) 短励締化(1件)		
イランド 現象に "そなえ	緑化の推進(屋上・壁面緑化、 みどりのカーテン等)、緑地の 保全	道路室 環境政策室	Δ	吹田市道路・公園樹木適正管理指針に沿った街路樹の管理(令和6年度、街路樹盤偏実積なし。) 現境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする		緑化の推進(屋上・壁面緑化、 みどりのカーテン等)、緑地の 保全			
న"			0	事業者に対し、計画の早い段階から、既存の植生の保全、地域に応じたみどりの創出、屋上緑 化などの項目を挙げて、検討及び実施することを求めた。			吹田市道路・公園樹木適正管理指針に沿った街路樹の管理(令和5年度、街路樹整編実績なし。)		
			0	吹田市庁舎高層棟において、みどりのカーテンを育て、市民に向けて啓発した。			吹田市庁舎高層棟において、みどりのカーテンを育て、市民に向けて啓発した。		

				令和6年度の実績			令和5年度の実績(参考)	
施策の柱	施策	担当空課	自己評価	令和6年度の実績及び評価の理由	備考	施策	令和5年度の実績及び評価の理由	備考
	市民・事業者との連携・協働に より日常生活や事業活動におけ る地球環境に配慮した行動の普 及促進	環境政策室		三南防機関値である「アジェンダ21 すいた」において、ライフスタイルや甲薬活動の指微を めざし、市民、甲薬素・行政の機能により、下股の各種イベントや研究活動を行った。 ・物料準額が出またの利に関係である「キャルターア・フィンダーク」 ・使用電力を大瀬光料電でまかはランとにより、COM出出ばゼロで開催するイベント 「すいたムーンライトコンサート」 ・環境等の映画上映会の開催 ・現場可能における「ネル研究不支援」など、その他、映画会や構造会など多数開催。 今後を見える研究を学えたの信息を指し取り組んでいく。		市民・事業者との連携・協働に より日常生活や事業活動におけ る地球環境に配慮した行動の普 及促進	名前機関係である「アジェンダン19 いた」において、ライフスタイルや事業必動を散発をあるし、市民、事業者、「市が公園はたり、下RD6名41へいた中間英語を行うた。 ・地球調解化防止に取り配け期間である「すいたクールア・スクィーク」 ・使用電力を大部分指令であなりことにより、CO5別出位はゼロで開催するイベント 「すいたカーンライトコンサート」 ・環境可能というスイトコンダート」 ・環境可能というスイル場所を実施 ・食品口ス別域に関する時間からなど、その他、映画会や域連合など参数開催。 ・会後に及る可能となったの会発を発展。の分析となった。	
	低公害車・低燃費車の得入及び 普及促進	環境政策室	Δ	「吹田市公用車配炭素化力針」に基づき、9台の電気自動車を得入した。また、電気自動車や 充電設備に関する説明会等を実施し、普及啓発を行った。		低公害車・低燃費車の導入及び 普及促進	「吹田市公用車限炭素化方針」に基づき、2台の電気自動車を得入した。	
	環境に配慮した事業活動への転 換に向けた環境マネジメントシ			令和6年度 エコアクション21即ほ取得事業補助金の交付実績は0件でした。 大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、各団体のエネルギー		環境に配慮した事業活動への転 換に向けた環境マネジメントシ ステムの導入促進	令和5年度 エコアクション2125班取得事業補助金の交付実績は0件でした。今後も補助金制度の周知を認り ます。 大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、各団体のエネルギー消費状況の接移	
	事業者に向けた事業活動転換の			消費状況の推移やキャンバス等での取組等について意見交換を行った。 実施なし		事業者に向けた事業活動転換の	やキャンパス等での取組等について意見交換を行った。 実績なし	
	促進第の検討・推進 エネルギー多量消費事業者など とのネットワークを活用した事			大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、各団体のエネルギー		促進策の検討・推進 エネルギー多量消費事業者など とのネットワークを活用した事	大学・研究機関と大学等省エネルギーワーキンググループ会議において、市有施設におけるLED化や公用車の	
事業活動の転換仮	業活動転換の促進	現現政策至	Δ	消費状況の推移やキャンバス等での取組等について意見交換を行った。 令和2年度から環境政策室にて定められた「吹田市環境物品調達方針」に基づき調達業務を行		業活動転換の促進	脱炭素化の取組みについて情報提供を行い、各大学や研究機関に対して、事業活動の転換を促した。	
進	グリーン調達、グリーン購入の 推進及び普及促進	契約核查室		1、年間単価説的指点を選択する際には、グリーン構入適用物品を優先的に選択し、その物品を認可することで、各型試に関大利用を促棄し、グリーン購入期間特品の資素、グリーン構入配置に関大りため、実施・単級別等品(申用用品)に係るグリーン構入件放及び金額(令和6年度契約被重要所当分)・グリーン基入十億人5の時(62-40)・グリーン基入十億人5の時(62-40)・グリーン構入金額41,393,952円(55.5%)		グリーン調達、グリーン購入の 推進及び普及促進	令和2年変から場項政策室にて変かられた「快田市場専物品測象が計」に取り、冷却速差解を行い、年間単極契 が開始を起来する際には、グリン・海ス、場所機能を使うがことで、この相談を使引することで、各型種に用 ス件限を受益し、グリン・海スの一般に、グリン・海スの一般に交かしている。 実際・世級定別特局(特別用局)に応うグリン・海スト性及び冷酸(令和5年度契約検査室所管分) ・グリン・海スト性の73.11件(64.20) ・グリン・海スト型の31.41年(64.20)	
		環境政策室	Δ	「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN(SMAP)」において、「2030年度(令和12年度) グリーン購入100%」を目標に掲げており、令和6年度のグリーン購入事は、84%であった。			「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN(SMAP)」において、「2030年度(令和12年度)グリーン購入 100%」を目標に掲げており、令和5年度のグリーン購入率は、86%であった。	
エネルギー	市接自の環境マネジメントに基 づく率先した修工ネルギーの推 進		Δ	要争・冬季を指導の重点取組期限として、適正な冷暖房の進度や不要照明の消打の極度などの 取組を実施した。 (重点取組期限) 要季 7月〜9月、冬季 12月〜3月		市独自の環境マネジメントに基 づく率先した修工ネルギーの推 進	要争・冬季を前端の重点改組階階として、適正な冷暖房の進度や不要照明の消打の徹底などの取組を実施した。 (他点取組開閉) 要争 7月~9月、冬季 12月~3月	
	市民・事業者との連携・協働に よる省エネルギー機器などの導 入促進		-	実績なし		市民・事業者との連携・協働に よる省エネルギー機器などの導 入促進	実績なし	
		地域経済振興室	Δ	吹田市商店街等商業共同施設設置事業補助金において補助対象となる冷房等の設備導入の際に は、省工不機器の促進を図るよう周知に務めています。			吹田市商店田等商業共同施設設置事業補助金において補助対象となる冷房等の設備導入の際には、省エネ機器 の促進を図るよう周知に務めています。	
省エネルギー機器	家庭及び事業所における省エネ ルギー機器などの改修及び得入 に係る情報提供及び啓発の推進	環境政策室		令和5年度に引き続き、吹田市環境まちづくりカイドライン等をHPに掲載することにより、省 エネルギー機器等の導入についての密発を行っている。 また、吹田市環境まちづくカイドライン [開発・建築版] を、市内で開発や建築などを行お うとする事業者に対して適用している。		家庭及び事業所における省工ネ ルギー機器などの改修及び得入 に係る情報提供及び啓発の推進	令部4項型で引き続き、空間市場理を与べいカイドライン等を中心開業することにより、省エスルギー機器 等の得えについての信券を行っている。今和5年度には出すを行い、電気自動車の得入を走に向けて充電設備 設置の周日を振たに抜けた。 また、空田再報末と与づくのカイドライン [開発・建築図]を、市内で開発や建築などを行おうとする事業者 に対して適用していま	
などの導 入促進	家電買い替え支援による省エネ ルギー機器導入策の検討・推進	環境政策室	-	実績なし		家電質い替え支援による省工ネ ルギー機器導入第の検討・推進	実績なし	
	公共施設における省エネルギー 機器などの導入推進	環境政策室	0	SMAP及び吹田市環境まちづくりガイドライン (開発・建築版) に基づき、公共施設の新築、 大規模改修の際には、高効率な各工ネルギー型無器等の推進を図るよう働きがけている。		公共施設における省エネルギー 機器などの導入推進	SMAPQZO吹曲市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高効率な省エネルギー型機器等の推進を図るよう働きかけている。	
	物理を含むの物人が認	施設を所管する 空課		【令和6年度の導入実績】 照明類 (LED照明類) 5,780台、空調類 195台、窓の改修 438.9㎡、高反射率途料 717㎡等の省エネルギー機器を導入			(令和5 年度の考入実績) 照明類(LED照明期) 5,215台、空間類 50台、恋の改修 233㎡、高反射宇達料 23,145㎡等の省工 不从平一機能を導入	
	再生可能エネルギーの利活用に 関する容発活動や情報提供の推 進	環境政策室		おおさカスマートエネルギー協議会 (市時代 (原創) 部門) 等に参加し、精確収集を行った。 また、大規府と大規市が共同で設置した「おおさカスマートエネルギーセンター」の取相等に ついて、HPC町化、用皮・等事業に指揮性を持っている。 収出市場場をゴインのオイティンをサルに掲載することにより、同生可能エネルギーの利活 用についての研修を行っている。 また、収出市場場をゴインのオイドライン (開発・建築成) を、市内で開発や建築などを行お ラとする事業本人以て表明している。			おおさかスマートエネルギー協議会 (特別特別) 等に参加し情報改集を行った。また、大規模及び大規市が 共同で取り限むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者に情報提供を 行っている。	
	市民・事業者との連携・協働に よる太陽光発電・太陽熱利用な どの再生可能エネルギーの普及 侵進	理論內施安	-	実績なし		市民・事業者との連携・協働に よる太陽光光電・太陽熱利用な どの再生可能エネルギーの普及 促進	実績なし	
	家庭及び事業所における再生可 能エネルギー利洒用を拡大する ための促進策の検討・推進		Δ	公共施設における歴感貸し事業については、発電を行っている沢吹田駅前中央自転車駐車場ほか2 施設の外電業値や写真等を市HPにて掲載し、啓発を行っている。		家庭及び事業所における再生可 能エネルギー利活用を拡大する ための促進策の検討・推進	公共施設における原根貸し事業については、発電を行っているAP次田駅前中央自転車駐車場はか2施設の発電実験や写真等を市がにて掲載し、啓発を行っている。	

				令和6年度の実績		令和5年度の実績(参考)	
再生可能エネル	公共施設における両生可能工ネ ルギー利用設備の導入推進	環境政策至	Δ	【南生可能工ネルギー設備の得入】 総設や協能の知识など大規模が維持には、特殊の事情がない情り、再生可能エネルギーを得入 すること並び正常の機能においても、指標的に再生可能エネルギーの得入を認ることを設ま えて進めている。 〈相印を用なの得入実施〉 ・片出即本所は、法規大機能(45-40W) ・水戸舎・大規模を(20-40W) ・表戸舎・大規模を(20-40W) ・最野高中野谷・大規大機能(10-60W) ・最野高中野谷・大規大機能(10-60W) ・走加事を持一が大規模を(45-40W) ・大加等が、中が大規模を(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大規模(45-40W) ・大加等が、中が大加等が、中	公共施設における再生可能工ネ ルギー利用設備の導入推進	「用写可定工利用一等の例為」 「用定型企業的の目標的機能の主意を指数であって、接触や設備の新設及が大規模を維持には、特別 の素的が以い場で、用定型定工ルギーを導入すること並びに互好の施設においても、可能な限り、機能的に 同学可能工スポイーの得入を認定ことを定定したことを加工スポースを表 、不満れた機(14.5km) (14.5km) (14	
ギーの導入拡大			-	実績なし		【再生可能エネルギー設備の導入】 核山台/学校 太陽光発電 10kWを導入 第六中学校 太陽光発電 10kWを導入	
		施設を所管する 空課	-	実績なし			
		35.04	Δ	【南北河北江ネルギー設備の導入】 地田出土小学校 大場が発電 10kWを導入 南東市小学校 大場が発電 10kWを導入			
	RE100に向けた再生可能エネル ギー比率の高い電力調達の推進 なび促進	環境政策至	0	再生可能エネルギーの得入拡大を創出することを目的に、市有施設における再エネ比率100% の電力調整を52施設で実施した。これにより、市で使用する電力のほぼ全てが再エネ電力と なった。	RE100に向けた再生可能エネル ギールをの高い電力調達の推進	再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、市有施設における再生可能エネルギー比率35%の電力の調達を市有施設84施設で実施した。	
			-	実績なし 実績なし 実績なし	及び促進	実施なし	
		環境政策室	-	実績なし	防災拠点をはじめとした公共施 設における大規模災害時の自	英橋なし	
	防災拠点をはじめとした公共施 設における大規模災害時の自	危機管理至	-	実績なし	立・分散型エネルギー確保に向 けた、再生可能エネルギーと蓄 電池を組み合わせた電道投機の	英緒なし	
	立・分散型エネルギー確保に向 けた、再生可能エネルギーと蓄		-	実績なし	地形で組み合わせた地球操の 導入推進	実績なし	
	電池を組み合わせた電源設備の 導入推進	施設を所管する 空課	-	実績なし			
			-	実績なし			

let man	40°20°	40 Wysersen	l di mante	令和6年度の実績	ere da	佐 館	令和5年度の実績(参考)	備を
施第の柱	食品ロスの削減やブラスチック ごみを含むごみの減量・再資源 化に関する啓発活動や情報提供 の充実化	担当室課環境政策室		意記でまたの土地以上での主 意記でまたの土地以上での主 同様の主義的し、立合数学の学生団体をNNOと主義的し、接座食品ロス削減基準 「すてられる食べ物をかたしたちの子で! ~ まちからへらずもったいない~」を実施した。 プラスチックごが開始のため、他、地でコンタクトレンズの空ケースの配位や辻地路かんのマ 本木トル用版を研究を書もし、市板でごが縁に置っており手を推覧した。		食品ロスの削減やブラスチック ごみを含むごみの減量・再資源	会は生まるか。本地が上の計画 意画は召削権を促進するため、有限会社ラグに及び大和大学と連携し、講座「OKARADA(おカラダ)につれ しいアップサイクルフード、ラグレビデの意画コス」を実施し、 プラスチックごか用途のため、使い様でコンタクトレンスの意ケースの回収や公共施設へのマイボトル用能水 株の設置をした。市所にごの機能に関するアルデルを機能した。	*** 7
	市民団体や事業者との連携・協	環境政策室	Δ	市民・事業者・行政が三者協権でごみ減量・再資源化に取り組む「吹田市ごみ減量再資源化推 進会議」にて、意見交換を年2回実施した。		市民団体や事業者との連携・協	市民・事業者・行政が三者協働でごみ減量・再資源化に取り組む「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」にて、 意見交換を年2回実施した。	
生抑制を		学校教育室	0	令和6年度も、干磨リサイクルブラザでごかの行く未を学習できるよう所内の社会科見学を全 小学校に案内し、36校が見学した。校内ミニ水田、ピオトーブの推進・維持管理は地域やN P0法人と連携している。	環境教育推進事業	働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化	令和5年度も、干里リサイクルブラザでごみの行く末を学習できるよう所内の社会科見学を全小学校に案内 し、36校が見学した。校内ミニ水田、ピオトーブの推進・維持管理は地域やNPO法人と連携している。	環境教育推進事業
優先する 社会への 転換		環境政策至	Δ	多量期出占有着196事業者に対し、ごみ減量マニュアルを配付した。 事業系ごみの減量・再貨品化を促進するため、事業系一級業績の原用過ぎ1.5 t以上の事業 客を対象に研修と表現した。 吸田市の所におけるごみ提調を実施し、さらなるごみの列の機能を呼びかけた。 事業所を効削減性、原業物の遊び以降出力法か分別分別として、指導器を及び情報提供を		環境マネジメントシステムの普 及や事業者向け啓発活動・情報 提供活動の充実化	多量原出占有者197事業者に対し、ごか減量マニアルを配付した。 事業系にかの減量・再度部位を使害するため、事業系・無成業物の別出置が1.5 t 以上の事業者を対象に研修 を支票した。 吸出中級所におけるごうが資源者を実施し、さらなるごかの分類の過度を呼びかけた。 ・乗業所を診断開発し、施業物の適切が出出が落から別が方法でいて、高格響を及び帰職提供を行った。 (355	
	「北摂地域におけるマイバッグ	事業課	Δ	季業所を訪問時間と、原業等の処理切ら非正力法や力勢力法にプレく、指導協定及び情報を禁を 行った。(333回) 昨年度、協定での目標達成が平常化されたことから「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促		「北郷地域におけるマスパッグ	事業所を訪問調査し、廃棄物の週間(43年の)ないでありた。 (49年) 新型コロナ感染症の影響が残っていたため、大々的なPR活動等はできなかった。	
	等の持参促進及びレジ袋削減に 関する協定」に基づくレジ袋削 減に向けたPR活動の実施	1010 N-101**	0	進及びレジ袋削減に関する協定」を廃止し、「北根地域における食品ロス削減及び容器包装を 含めたプラスチックに係る貨源機場の促進等に関する協定」を練結した。 食品ロス削減イベント「もったいないやんEXPO」にプース出展し、PR活動を実施した。		等の持参促進及びレジ袋削減に 関する協定」に基づくレジ袋削 減に向けたPR活動の実施	また、協定での目標連成が平常化されたことから「北側地域におけるマイバッグ等の持参校差及びレジ管所域 に関する協定」を廃止し、「北側地域における食品ロス削減及び容器包装を含めたプラスチックに係る資源循 環の促進等に関する協定」を解結し、さらなるごか削減に関する取組を進める。	
	12種分別の徹底、ごみの減量や 両真原化を形定全体ご透査させ るための仕組みづくりの推進	環境政策室	Δ	新年度上投すると、東南瓜下かの円出畳は減少し、青年瓜下かの円出畳は減少し、1人1 起たりのこかのが出車が出車が対し、リケーツの土地は燃した。 東南瓜下かの線準・再海前化を使ぎするため、点自コス利は減圧 「すてられ合か物をわたした ためかでドーさかからつくずったいかり、と降瓜下が海原剤が出業 「「パルな で考えるがのTAINAI(もったいなり) 基 (ルンでが場里が) 一プワーフ) を実施した。 市民で特集をの電視型施をきらに向上させるため、「走地物域における食品口入利は及び問題 の機を含めたプラスツロに有る資産機能の企業をにする「毎日」を解析し、きらなこでが は、国する効能を始めた。 本事業にから加速・再直着化を使ぎするため、事業系一般業態の所出量が1.5 に以上の事業 者を対象に研修会実施した。 市民・学業等・千百分不能物でごかは量・再直着化なり相の「攻如市ごかは無用資産化壊 連合紙」にて、意見交換を42 回面側した。		12種分別の態度、ごみの減量や 両責敵化を所定金に浸透させ るための仕組みづくりの復進	会を実施した。 市民・事業者・行政が三名協権でごか減量・再政際化に取り組む「吹田市ごか減量再政策化准進会議」にて、 意見文技を年2回実施した。	
多くの市民が参加		李單課	Δ	・小学生を対象としたバッカー車出系講座は、新型コロナウイルス感染症の予防対策をし、依 繋があった小学校に対し実施(32校) ・事順所を訪問調査し、床業物の適切な排出方法や分別方法について、指導器発及び情報提供 を行った。(333回)	市内小学校は全36		・小学生を打除としたパッカー車出前構座は、新型コロナウイルス感染成の予防対策をし、依頼があった小学 仮に対し実施 (31段) ・事場所を訪問調査し、廃棄物の遺切な提出方法や分別方法について、指導器発及び情報提供を行った。 (35.502)	市内小学校は全36校
しやすい リサイク ルシステ		破砕選別工場	Δ	令和6年度は換入量が増加しており、資源化率も令和5年度と比べわずかながら増加している。 搬入されたごみについては適正に再貨源化している。 (実験品目31品目:8,065.19t) 持続可能な航空燃料であるSAF (Sustainable Aviation Fuel) の原料となる素食用油面収の取			令和5年度は勝入最が減少しているものの。 真際化効率は令和4年度と比べわずかながら増加しており、適正 に再資源化している。 (実施品目31品目: 7,983.63t)	
	資源ごみ分別収集やベットボト ル・廃食用油の拠点回収の拡大 など、リサイクル手段の拡充の 推進	李單課	Δ	対称の原式を認定器はてあらかい (Sustamable Avaiton Fuel) の原料となる原質所由回収の収 転を拡大すること目的とし、「持続可能な航空燃料の普及促進に関する連携と協力に関する協 定書]を締結した。 回収量、229.71 に の収量、229.71 に の収量、249.71 に ・ の収量、249.71 に の収量、249.71 に の の の の の の の の の の の の の		ル・常設用油の拠点国収の拡大	家庭系ごみの減量・再資源化を受養するため、回収拠点を1箇所物設し、本庁舎を含む公共施設15箇所において、家庭系度財務金配収し、リジイクル業者に売却した。(回収量: 令和5年度 7.29 t) 回収量: 221.23 t 回収拠点:113箇所	
	再生資源集団回収やエコイベン	破砕道別工場 環境改築室	Δ	ている。 再生貨券集団回収への報償金の交付を行ない、市民等への支援を実施した。		再生資源集団回収やエコイベン	ペットボトル・廃食用油など、拠点回収の拡大に対しても十分にリサイクルできる体制を整えている。 再生貞源集団四収への報償金の交付を行ない、市民等への支援を実施した。	
	トなど、地域リサイクル活動の		Δ	(再生資源集団回収実績:令和6年 432団体 5,182,660 t) ・小学生を対象としたパッカー無出前講座は、新型コロナウイルス感染症の予防対策をし、依 頼があった小学校に対し実施 (32校) 資源リサイクルセンターでは、毎年単、木工、布等の各市民工房において、指導員が修理のア		サエ貝の単位の以下エコティントなど、地域リサイクル活動の 活性化	(再生資源集団回収実績: 令和5年 436団体、5,593,526 t) ・小学生を対象としたパッカー車出前講座は、新型コロナヴイルス感染症の予防対策をし、依頼があった小学校に対し実施 (31校)	
	再生品の使用拡大及び再生資源 事業者との連携によるリサイク ルシステムの安定化		Δ	興度パフォンルにシャーでは、自転車、大・市場の合用によめにあり、 機等別が等級リンド ドバイスを行ったが、予度とはったを使用可能と附着により支えるなど、リガイのルネ 動の試験を行っている。また、展示コーナーにおいて、市民工度で再生した成果品を常設度示 している。 給水機を設置し、マイボトルを携行するライフスタイルへの転換を使している。 令和6年度に乗り返げ着助しており、顕著化本年令称3年頃と比べわずかながら増加してい		再生品の使用拡大及び再生資源 事業者との連携によるリサイク ルシステムの安定化	周期リザイクルセンターでは、白柱鹿、木江、布等の各市紅江原において、無線剤が排除のアドバイスを行ったり、不存となったのを使用可能な知恵とからであるなど。リヤクリの活動が実施を行っている。また、 第二コーケーにおいて、市紅工原で用生した理想を定認度をしている。 給外機を設置し、マイボトルを預片するライフスタイルへの転換を促している。 令形を専収部局よ野が歩りているものめ、異様心路は今日本年名まと比べりずかは好ら間如しており、須正	
Q Q	フードドライブの推進及びフー	破砕道別工場 環境改第章	Δ	る。搬入されたごみについては適正に再貨源化している。 (実績品目31品目:8,065.19t) 年2回 (9月・1月) 開催。4か所(環境政策室、子育てブラザ、ラコルタ、浜屋敷)で回収		フードドライブの推進及びフー	に再貨源化している。 (実験品目31品目: 7,983.63t) 年2回 (9月・1月) 開催。3か所(環境政策室、子育てプラザ、ラコルタ)で回収し、子供食堂や社会福祉	
n n	ドバンクとの連携 廃棄物管理責任者などを通じた 排出管理指導の強化及び事業者 全体に排出者責任の意識の浸透		Δ	し、子母危撃で社会副社協議会等に提供している。 多無別出台南省の事業を打力し、方列機可でニュアルを配付した。 事業系ごみの減量・再貨率化を促進するため、事業系一般廃棄物の排出量が1.5 t 以上の事業 者を対象に研紛会を実施した。 か取出物等所におけるこか経過等的については、市份所未行会工事により、実施していない。		ドバンクとの連携 廃棄物管理責任者などを通じた 排出管理指導の強化及び事業者 全体に排出者責任の意識の浸透	協議会等に原付している。 参量担出占有有引予解棄に対し、ごみ減率マニュアルを配付した。 事業系ごみの減量・再貨源化を促進するため、事業系一般廃棄物の排出量が1.5 t 以上の事業者を対象に研修 会を実施した。 毎四日的所に払けるごみ通道費を実施し、さらなるごみの分別の機能を呼びかけた。	
	事業系ごみに関する情報提供の 充実、多量排出占有者への指導 強化などによるリサイクルの促	事業課環境政策空	Δ	多量排出占有者196季業者に対し、ごみ減量マニュアルを配付した。 事業系ごみの設置・再度恐化を促進するため、事業系一個演集物の排出量が1.5 t以上の事業 者を対象に研修会を実施した。		事業系ごみに関する情報提供の 充実、多量排出占有者への指導 強化などによるリサイクルの促	多量排出出有有に対するごの提調査を行い、入居デナント等に対する指導容免を実施した。(4件) 多量排出出有有197事業を示けり、ごか返棄マニアルを配布した。また、事業不一畝晩業物について研修会 影響は、ごから単等に再発度化の発展を高かた。 吹田市役所におけるごか提調査を実施し、さらなるごみの分別の拠底を呼びかけた。	
排出者責	進	事業課	Δ	事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓発及び情報提供を 行った。 (333回)		進	事業所を訪問調査し、廃棄物の適切な排出方法や分別方法について、指導啓免及び情報提供を行った。 (355 図)	
	燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知 徹底及び古紙など資源回収ボッ クスの利用促進	キーセンター	΄ Δ	搬入時に持ち込みごみの常時監視を行い焼却不適物の持ち帰りの指導を行うとともに、搬入時 に持ち込んだ占紙等資源化物は、計量前の資源回収ポックスに投入するよう指導している(検査 回数: 41回、資源回収量:37.53トン)		燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知 徹底及び占紙など資源回収ポッ クスの利用促進	搬入時に持ち込みごみの環時監視を行い焼却不適物の持ち帰りの指導を行うとともに、搬入時に持ち込んだ古 紙等資源化物は、計量前の資源回収ボックスに投入するよう指導している(検査回数: 46回、資源回収量: 46.56トン)	
量促進		環境政策室 道路室	0	実績なし 街路樹の伐採木を焼却処分せずにチップ化。(令和6年度実績数量:72.5 t)			実績なし 街路樹の代採木を焼却処分せずにチップ化。(令和S年度実績数量:51t)	
	剪定核などのチップ化や商業生 化、下水汚泥の肥料化や建設資 材化など、市によるごみ減量行 動の事先実行		Δ	公園樹木の落葉を開業工化して花畑の土として使用したり、労吏核をチップ化して自然路の舗 接材として使用するほど、公園の樹帯管理を通じてごか減銀行動に取り組んだ。 今和6年度実績: 労支核のチップ化 327 t 下水汚窓はコンポスト (使料化) として活用することにより、下水道資源の有効利用ができ		剪定核などのチップ化や腐葉土 化、下水汚泥の肥料化や建設資 材化など、市によるごみ減量行 動の率先実行	公園時本の清菓を開業士化して花場の土として使用したり、貯支枝をチップ化して自然語の舗装材として使用 するなど、公園の時持管等を通じてごか減量行動に取り組んだ。 令和5年度実施: 貯支枝のチップ化 238.51 下水汚泉はコンポスト (使用化)として活用することにより、下水道資源の有効利用ができた。	
		水再生室	Δ	た。今後、より循環型社会に対応した汚光効理方法の検討を引き続き進め、継続的、安定的な システム構築を目指す。 令和6年度実績 汚光有効利用量 12,378.68 t		38000-da Artocci 3	今後、より領理型社会に対応した汚恋処理方法の検討を引き続き進め、継続的、安定的なシステム構築を目指 す。 令和5年復実績 予選系が利用量 12,275.49 t	
	リサイクルや適正処理などの推 進に適した分別収集体制の確立	宇楽課	Δ	回収量: 229.71 t 回収拠点: 114箇所		リサイクルや適正処理などの推 進に適した分別収集体制の確立	回収量: 221.23 t 回収拠点: 113箇所	
な低炭素	施設の適切な維持管理と計画的 な整備など、持続可能な低炭素 社会実現に寄与する処理システ	4-629-		市民の毎日心を交える受り完全は結局として、長期につかり非義できるように、計画的に整備 を実施した。また、接近で生じた熱をごか外電等で、積極的に利用することにより持続可能な 低炭素社会実現に落らした。(特価量48,75MWh) 令和6年度は勝入量が増加しており、黄源化率も令和5年度と比べわずかながら増加してい		社会実現に寄与する処理システ	市馬の際もしを支える安心安全な起稿として、長期につたり録儀できるように、計画的に整備を実施した。また、焼却で生した熱をごみ発電等で、積極的に利用することにより持続可能な低炭素社会実現に高与した。 (総数分損金:5,758千円) 令和5年度は損災量が減少しているものの、資源化効率は今和4年度と比べわずかながら増加しており、適正	大阪湾広域廃棄物埋立 処分場整備事業
に寄与す る収集体		破砕道別工場		る。搬入されたごみについては適正に再資源化している。 (実績忌目31品目:8,065.19t) 最終処分量を削減するために、ごみ減量施策を実施するとともに、焼却後の灰から鉄分や溶散		ムの構築	に両責用化している。 (実施品目31品目: 7,983.531) 翻終処分量を削減するために、ごみ減量除薬を実施するとともに、焼却後の灰から数分や溶酸スラグ、メタル	大阪湾広域廃棄物埋立
制や処理 システム の構築	・ごみ減量の推進による最終処分 量の削減	ギーセンター 破砕遅別工場		スラグ、メタルを生成し再真確化することにより、積極的に真源回収並びに利用促進に努めた。 (建設分担急6,580千円) 令和6年度は接入屋が増加しており、資源化率も令和5年度と比べわずかながら増加してい		ごみ減量の推進による最終処分 量の削減	を生成し再貨票化することにより、積極的に貨票回収並びに利用役連に努めた。(建設分担金5,756千円) 令和5年度は購入量が減少しているものの、資源化効率は令和4年度と比べわずかながら増加しており、適正	
	災害廃棄物処理に関する計画の 適正が運用		_	る。		災害廃棄物処理に関する計画の	に再貞原化している。 (実績品目31品目:7,983.63t) 実績なし	
	適正な運用 雨水の有効利用の推進		-	英橋なし		適正な運用 雨水の有効利用の推進	実績なし	
水資源の 有効利用	下水処理水などの再利用の推進	水再生室	Δ	処理水の再利用については、現在、川面下水処理場において事業者向けに処理水を供給しており、今後の利用の拡大については、市圧ニーズとそれにかかるコストを簡素しながら検討していく、一方、高度処理水の再利用については高度処理整備事業計画を控制的に進めており、こちらについても利用性を推進していく、		下水処理水などの再利用の推進	処理水の再利用については、現在、川面下水処理場において事業者のけに処理水を供給しており、今後の利用 の拡大については、市民ニーズとされにかからコストを無常しながら対対していく。一方、高度処理水の両利 用については高度処理協綱手業計画を均隔的に進めており、ごちらについても再利用を推進していく。	
と健全な水循環の推進	節水型社会の定義に向けた啓発 活動			厳選としての水の大切とについての内容を折り込んだ、浄水処理が流について解説する動画 「みんなかな」と小学生の浄水が野か会で上減し、研究器に出げた。 観測が少学な一場が、水砂県に取り支集等やを達して、水道水の安全性や水の大切さについ で国家する出版規範と次行った。 小学4年至七対参とし、水道ができる仕組がや水の大切さ、水源発金、原水の研究を行う泉 浄水料野学会と名の実施した。	道」 小学校への出前授業	節水型社会の定義に向けた啓発 活動	国産としてかかれが自己でいての内容を折り込んだ、浄水原準方法について解説する動画「みんねの水道」 を小学生の浄水所学を含むて上発し、研究各画に関がた。 服成が小学な人場合。 水原生に同する実験等を追して、水道水の安全性や水の人切さについて回発する出席 授業を終行うた。 ・ 小学 4年生を対象とし、水道水ができる仕組やや水の人切さ、水源保全、原水の信発を行った浄水所学学を 宏校実施した。	小学校への出前授業
産業廃棄	産業廃棄物適正処理についての 指導・啓発	環境保全指導課	Δ	産業廃棄物の適正処理について立入検査を行い、指導・啓発をした。 (立入検査 延65件)		産業廃棄物適正処理についての 指導・啓発	落葉敗棄物の適正処理について立入検査を行い、指導・啓発をした。 (立入検査 域72件)	
	使用済自動車及び建設工事に係 る資材の再資源化等に関する事 業者などの管理・指導	環境保全指導課	Δ	使用済自動車及び建設工事現場から発生する産業廃棄物の適正処理について指導した。 (自動車リサイクル法 立入検査 延0中) (建設リサイクル法 立入検査 延115件)			使用消白動車及び建設工事明場から発生する産業廃棄物の適正処理について指導した。 (白無単リサイクル法 立入検査 延0件) (建設リサイクル法 立入検査 延122件)	

				令和6年度の実績			令和5年度の実績(参考)	
施策の柱	施策	担当空課	自己評価	令和6年度の実績及び評価の理由	備考	施育	令和5年度の実績及び評価の理由	備考
	典型7公害(大気汚染、水質汚 期、土壌汚染、豚苗、無動、地 酸淀汁、悪刺とはしめ、環研ラ 染の監視体制の充実化による環 境汚染の防止	環境保全指導課	Δ	事業所の位入回数は大気においては、昨年と四大事で推移している。水質においては、歴出 特別の地域により、鹿出処理を機関したためな力、回旋が減少したが、今和7年度に実有する予 変である。今後を予期機能に作り公割物が上外の自上に向けて、公共整合自由か手腕への 病縁、四条を行っていく必要がある。 また、良好など間が内を、健なせた事態は後を食ぎることを目的に、工事が行われる際に周辺 住民に工事が同が特案に関連されるよう。住民総称の力法や解析工事の内理を必認らせずる郷 高級金融等が近代地域と影響は必要ながあったが、パトロールや中で支援を計算実施を指する。 場所の発音等ですると問題に努力でいる。 報報を指すると、参生によります。 報報を指すると、参生によります。 第項を指すると、参生によります。 第のでいく参加がある。 (の人の要がある。 (の人の要がある。 (の人の要がある。 (成人の業)、大気が無い、発見4回)		典型7公害(大気汚染、水質汚 現、土地汚染、経資、無効、地 酸松下、悪卵、タセピルの、環状形 取の能摂体制の充実化による環 現写染の防止	事業所の2人回動は大死、水質において特をと思水道で建築している。今後の非業活動に行う公開的止対策 の向上に向けて、立入機能も向た非難所への指揮、電発を行っていく必要がある。 また、最初な2時期所に連合なる連携制を含むすることを目的に、工事が行われる際に指定は延兆に取り存 が業業に関係されるよう。在世間等の方法や特化工事のが確定を出せ、する機能の企業を決立を認定と連携域 の発金について、イトロールが年之業が特殊実施機能が必要が任じ業を行うことが限い方式のようと連携 環境を応じいては、必要に近し原定を急ぐ物定が得を検討し、効果的な差別を終めり発生に対していく必要 がある。 (は入間度:大気イ河、水質5回)	
	日常生活における公害や環境汚染の防止についての啓発			市民の環境豊盛の例とを図るため、環境月間等に合わせ市報に容別化学等を発電している。 また、市民の環外への間のが開まるよう、日常生活からまじるか第1ついてのオランなどを 用いて間を持つている。 今後世々ら市民の環境豊盛の向上のため、より効果的な得光活動の方案を研究していく必要 がある。		日常生活における公害や環境写 染の防止についての啓発	市民の福岡書館の向上を図るため、福場川勝年に合わせ作業に関発政事を発棄している。 また、雨度の職への関心が高まるよう。日常生活から生じる公前についてのチラン化とを用いて需発を 行っている。 今後安なる市民の福城専業の向上のため、より溶棄的な音光造物の方案を研究していく必要がある。	
	ポリ塩化ビフェニル (PCB) 廃棄 物の適正処理の推進	環境保全指導課	Δ	PCB廃棄物保管事業者等に対し立入検査を行い、適正処理を指導した。 (立入検査 延12件)		ポリ塩化ビフェニル (PCB) 廃棄 物の適正処理の推進	PCB疾棄物保管事業者等に対し立入検査を行い、適正処理を指導した。 (立入検査 延24件)	
	下水道の高度処理化や合流式下 水道の改善を進めるなどの水環 境の保全		Δ	各下水処理場の高度処理化は、老朽化した施設の再構築に合わせて順次導入する。 また、合流改善施設については、川面下水処理場、南吹町下水処理場及び川面ボンブ場の雨水 滞水池の設置が完了しており、整備した施設の活用を図り、水環境の保全に努めている。		下水道の高度処理化や合流式下 水道の改善を進めるなどの水環 境の保全	各下水処理場の高度処理化は、老朽化した施設の再構築に合わせて順次得入する。 また、合選改善施設については、川面下水処理場、前外田下水処理場及び川面ボンブ場の雨水滞水池の段差が 売了しており、整備した施設の対限をはかり、水理の保全に努めている。	
	遺伝子組換え実験などや病原体 など及び放射性同位元素の取扱 による環境影響の未然防止		Δ	歴出事順所に介入調査を実施し、施設の安全確定を行っており、環境写染の未然助止に寄与している。また、届出対象施設を新規設置しようとする事業者とは協定を締結し、本市条例等に 基づき、安々安全の確保に努めるよう指揮している。		など及び放射性同位元素の取扱	風出事業所に立入調査を実施し、施設の安全確認を行っており、環境汚染の未然的止に落与している。また、 風出対象施設を新規設置しようとする事業者とは協定を締結し、本市条例等に基づき、安心安全の確保に努め るよう指導していく必要がある。	
	緑あふれる未来サポーター事業	道路室	Δ	すいた屋根道路実施要領に基づき協定を締結した団体(以下、「屋幌」という。)による清掃 等美化活動を支援する事業であり、地域の環境美化を推進した。令和6年度の屋親数は53団体 となっている。			すいた星形道路実施受領に基づき協定を締結した団体(以下、「重視」という。)による清掃等美化活動を支援する事業であり、地域の環境美化を推進した。令和5年夏の星親数は52団体となっている。	
	を活用するなど、地域での自主 的な道路や公園の美化活動の支援	公園みどり至	-	公園報等の場所管理ポランティア制度である「公園等自主管理支援制度」により、活動機能 材の貨与、活動支援金給付など、市民による降車、清掃、花棚管理、竹林管理等の実化活動を 支援した。 (物名6年実施) 公園等自主管理支援制度 227団体 (248公園報場等)		を活用するなど、地域での自主 的な道路や公園の美化活動の支 援	公園時地の維持管理ボランティア制度である「縁あふれる未来サポーター事業」により、活動資機材の貸与など、市民による締命、清除、花場管理、竹林管理等の実化活動を支援した。 【帝和5年度末稿】 縁あふれる未来サポーター 89団体(69公園時地)	
	環境美化推進重点地区の指定の 推進	環境政策室	Δ	令和6年度は新たな環境美化推進重点地区の指定をしていない。		環境美化推進重点地区の指定の 推進	令和S年度は新たな環境美化推進重点地区の指定をしていない。	
環境美化の推進	市民・事業者と協力した公共空間の環境美化の推進	環境政策室	0	収却市場場点化工学で名前時計算期間から配により法、明期実化型場を出租しませた。市場、事業 者とと化工電場場が開発を図っている。(中部内容 活動性 478年 54名) その他、市店・等業者と継続した電場実化活動を実施し活進を図っている。 実施事業 ・ A他即回接活動 ・ Jが其キタリーン人作様 (市中一再清報) 電場実化産業時は自然繋が加りたが、カガモキタリーン人作様 (市中一再清報) の参加回 機能が開始した。(中国・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・			校田市田県東北に国する都内閣庁同間官9条に基づき、福岡東北港港県を並任し、市民・事業者とともに環境 東北の信仰を出っている。(今和北京 京都部体 40回年 54年) 古の他、西京・事業者と継机した昭東北の語称を実施し推査を設っている。 実施等 ・ 4回回用家部 ・ 1カがまちクリーン大作板 (市内・再消費)	
	水路などの清掃による環境保全	管路保全至	0	管路包括委託にて、適切な時期を遅んで計画的に水路消移を実施した。また河川管理者と協働 し糸田川の河川消移(年3回)を行い、その内の1回は、糸田川に隣接する自治会等が参加する 糸田川クリーン活動を行った。		水路などの清掃による環境保全	管路包括委託にて、適切な時期を選んで計画的に水路市得を実施した。また河川管理者と協働し糸田川の河川 清摂(年3回)を行い、その内の1回は、糸田川に廃接する自治会等が参加する糸田川クリーン活動を行った。	
	打ち水やみどりのカーテンな ど、身近に取り組めるヒートア イランド現象緩和の啓発活動の 推進	環境政策室	0	改田市庁舎高器棟において、みどりのカーテンを育て、市民に向けて啓発した。		打ち水やみどりのカーテンな ど、身近に取り組めるヒートア イランド現象緩和の啓発活動の 推進	吹田市庁舎高麗様において、みどりのカーデンを育て、市民に向けて侵免した。	
	南水浸透の整備による地下水の 酒養の推進	管路保全室	Δ	民間開発事業の事業規模により、好いたすまいる条例に基づき雨水浸透桝設置を指導している。 雨水浸透桝の浸透効果等から設置箇所を道定し工事を行った。		雨水浸透の整備による地下水の 酒養の推進	民間関発事業の事業規模により、好いたすまいる条例に基づき南水浸透射設置を指導している。 南水浸透射の浸透効果等から設置箇所を選定し工事を行った。	
		道路至	Δ	歩道舗装更新工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が開持できる透水性舗装の整備 に努めており、今後も引き続き行う予定である。 今和6年恵労水性舗発施工業域(道路施工学): 4,569㎡ 緑化の推進については、「みどりの協定」、「緑化樹配付」等の助協制度の運用や、「モとみ			多道議長更新工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が開持できる透水性議長の整備に努めており、 今後で引き燃き行う予定である。 今初5年度透水性機能を正理解(図路室施工分): 3,486㎡ 公園排物については、「吹田市記念機能」制度による市民の寄附による機能を行った。	
ヒートアイランド		公園みどり室 地域整備推進室		どりの情報センター」の管理運営等による緑化啓発を行った。また、開発事業における敷地内の緑化に係る協議等を行った。 事業終了により事績なし		緑化、アスファルト対策などの	線化の推進については、「みどりの協定」、「生用等線化推進助成」、「線化樹配付」等の助成制度の適用 や、「花とみどりの情報センター」の管理運営等による線化熔発を行った。また、開発事業における敷地内の 線化密の協議等を行った。 単級をプレート、単純な」	
対策の推 進	緑化、アスファルト対策などの			事業終了により実績なし		蓄勢への対策、筋エネルギー、		
	蓄熱への対策、節エネルギー、 省エネルギーの推進による人工 排熱への対策の推進		0	改加市場別まちづくのカイドライン (開発・建築図) [基づき、公共施設の新築、大規模の信 の際には、屋上・健国総合や原収計接容等による器約が振び7級効率が名生7447年一規模器 の時間等によるとはお外が成と、アープインドが規の速差を増加が打ている。 また、場割をおづくのカイドライン (開発・建築図) により、前がて関発や建築などを行おう とする手業者だけ、計算の近い機能から上規能と関係にという行うが大撲。(日本)		省エネルギーの推選による人工 排熱への対策の推選	SMAPXJV映出市電球まちづくりカイドライン (関条・建築間) に基づき、公共施設の新温、大規模改修の原 には、差し、信服体でや高な対域条件による部分対象が表々者エネルギー世報器等の傾用等による人工 規約対策のヒートアランド対象の運搬を制造が打ている。 また、環球を与づくのオイドライン (関条・建築間) により、ค内で国発や地域などを行めっとする事業者に 対し、計機ので小規節が公共指数に関係にヒートアイランド対解 (指標機関係、機関) に常表面)のス	
		施設を所管する 空課	_	根面・壁面」と「地表面」の2項目)への取組を検討及び実施することを求めた。 実績なし 実績なし			項目)への取組を検対及び実施することを求めた。 実績なし	
	熱耳検フップセリャで用し		-	実施なし 環境よちづくりガイドライン [開発・練銘版] により、市内で開発や練路などを行おうとする		熱環境マップなどを活用した。	環境まちづくりガイドライン 【開発・練路板】により、市内で開発や練路などを行むうとする事業者に対し、	
	熱環境マップなどを活用した、 まちづくりにおけるヒートアイ ランド現象の緩和	環境政策室	0	環項まちつくりカイドライン [開発・建築版] により、市内で開発や建築などを行おうとする 事業者に対し、計画の早い段階から環境への歌組の検討及び実施することを求めており、その 中で平成25年度に作成した路発用パンフレット (熱環境マップ掲載) を利用した。 中高層設革物の日照際書寄の指導費領に基づき建設主と関係住民との紛争の未然防止に努めて		まちづくりにおけるヒートアイ ランド現象の緩和	計画の早い均隔から環境への歌相の検討及び実施することを求めており、その中で平成25年度に作成した啓発用パンフレット(熱環境マップ掲載)を利用した。	
電波障害	中高層建築物の日照障害などの 指導要領に基づき、日照障害・ 電波障害の未然防止	環境政策室	0	いる。また紛争が生じたときは中出に応じてあっせん及び調停を行う。引き続き中立的な紛争 調整の取扱が求められている。 (中高個建築物の紛争申出件数 令和6年度 0件)			中高圏建築物の日間障害等の指導更領に基づき建築主と関係住民との紛争の未然防止に努めている。また紛争 が生じたときは申出に応じてあっせん及び調停を行う。引き続き中立的な紛争調整の取組が求められている。 (中高階建築物の紛争申出件数 令和5年度 0件)	

				令和6年度の実績			令和5年度の実績(参考)	
施策の柱	施箱	担当室課	自己評価	令和6年度の実績及び評価の理由	備考	施第	令和5年度の実績及び評価の理由	備考
16,4051	動植物の生息・生育分布状況な どの把握		-	実績なし		動植物の生息・生育分布状況などの把握	実施なし	
	特定外来生物の防除活動		0	特定外来植物(生にオオキンケイギク)の発生について、情報提供が市民からあった場合に、 当該施設等の管理者が本市である場合は管理者である至調へ駆除依頼を行っている。 アライグマの目撃情報を結婚的に発信することで注意喚起を使している。また、アライグマの		特定外来生物の前除活動	特定外来植物(主にオオキンケイギク)の発生について、情報提供が市政からあった場合に、当試施設等の管理者が非市である場合は管理者である意味・服存機能を行っている。 アライグマの世界機を影響的に発信することで主意製を全化している。また、アライグマの精験圏の貸し出 アライグでの世界情報を影響的に発信することで主意製を発している。また、アライグマの精験圏の貸し出	
	生物多様性の保全への理解を深 めるための効果的なイベントの 実施及び容発活動		0	解離的日比しを行い、傾斜的の幼と物っている。(特別の母間 諸国教 で別) ・経路率 河川米の外の場場を含然年代している。(古かれて外籍) にて、カール スカウト大綱市江田ともに、北田山の海豚および外生生物の標準を行った。 と設証・河川米の外の場所を会が、日本の場合、日本のものは、日本のものは、日本のものは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本		生物多様性の保全への理解を深 めるための効果的なイベントの 実施及び俗発活動	しを行い、個体格の途やを扱っている。(今和5年度 構造制数 56間) ・ 経経歴 型川水系の水の心理場を登積を包削としている (まななか水路度) ピて、カールスカウト大阪府 第21間とともに毎回川の消費および水生主物の環境会を行った。 ・ 本市と誘導性への地域機関生主動の機能に対い、小学生が増えしいた森と生き物のつながりや大切さを学ぶ イベント (周囲ディキャンプ州の区) を発揮した。 ・ 糸砂管である じべぶかり (の発売機能を表演した。	
		自治体間交流を 推進する室課	_	や大切さを学ぶイベント「畑山デイキャンブmNOSE」を開催した。 ・毎少種である「ヒメボタル」の発光調査体験を実施した。 実践なし			・花とみどりのフェアにて、担金を通して生物多様性を信発するイベント「むし虫探検隊」を実施した。実績なし	
	自然体験・学習などの活動の推 進	環境教育を推進 する空課	-	実績なし		自然体験・学習などの活動の推 進	実績なし	
			0	本市と能勢可との地域循環共生圏の構築に向け、小学生を対象とした森と生き物のつながりや 大切さを学ぶイベント「国山デイキャンプinNOSE」を開催した。			本市と能勢町との地域領域共生圏の構築に向け、小学生を対象とした森と生き物のつながりや大切さを学ぶイベント「黒山デイキャンブinNOSE」を開催した。	
		環境政策室	0	「吹田市公共施設への木材利用推進ガイドライン」を推進した。		公共建築物などへの地域材の利 用推進	「吹田市公共施設への木材利用推進ガイドライン」を推進した。	
	公共建築物などへの地域材の利 用推進	施設を所管する	_	英様なし			実績なし	
		空課		実績なし				
自然資源 の持続的 な利用		環境政策空	0	露廻リサイクルセンターの木工工房にて、来館者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境 を設けている。また、指定管理者にて、木工教室や木工体験イベント等木育につながる歌組を 家族している。			「すいた環境教育フェスタ2024」において、森林相合豊能支店等と協力し、自由木エコーナー等からなる 「木育広電」を設置した。 資源リサイクルセンターの木工工房にて、来認者が身近に木材に触れ、作品を制作できる環境を設けている。	
а, 2	木育の推進	保育・教育を所 管する空課	-	本育の一環として、保護者・幼児・小学生が「まちなかリビング北千里」の建築材料として多く使われている総勢町の木の席材をサンドベーバーで磨き、積み木を作割する。		木育の推進	実権なし	
り ・ 白 然 共	地座地消 ²¹ の取組推進 (※1 本計画における地座地消 とは、市域内及び北摂地域(6市 3町)の資源を市域で消費するこ とを指す。)		Δ	令部6年度については、市外公園等で年間12回の勢市と管菓フェアにおいて、地元機を物の販売を無能。よと5月には「映田市内事所とは14億円、身行い、映田市民の方に第人していただける機会を扱いたほか、9月には「すいとフェスタ」において、映田市内での農業について管発活動を行いました。今後と地域を第70単進に取り組みます。		地産地消※1の取組推進 (※1 本計画における地産地消 とは、市場内及び北摂地域 (6元 3両)の資源を市域で消費するこ とを指す。)	令和5年度については、市外公開等で年間13回の終市と産業フェアの港業等において、地元港産物の総元を 実施しました。また、市立党田サッカースタジアル(Panasonic Stadium Statu)にて実施されたガンパメ製 主義サームでの(ステージ)やスタジアムフェスタにおいて、党田市内での業業について哲発活動を行いま した。今後とも地産地等の選進に取り組みます。	
生みどりを		公園みどり至 (吹田市第2次 みどりの基本計画(改訂版)に て進行管理)	-	-	=	住宅地のみどりの保全	-	-
継承する	丘陵・斜面のみどりの保全 農地とため池の保全	同上 同上	-	-	-	丘陵・斜面のみどりの保全	-	-
	展唱とにめ場の様主 公園・緑地の適切な維持管理	門上	-	=			- -	= =
	大学のみどりの保全	門上	-	-	-	大学のみどりの保全	-	-
		同上 同上	-	-	-		-	-
		門上	-	-	-	商業地・業務地の緑化	-	-
	住宅地の緑化	門上	-	-	-	住宅地の緑化	-	-
みどりを	商売が公開・締他の新規軟備	同上 同上	-	-			= = = = = = = = = = = = = = = = = = =	_
生み出す	まちづくりに併せたみどりの拠	門上	-	-	-	まちづくりに併せたみどりの拠	-	-
	点の創出 大規模な公園・緑地の未開設区 域の整備		-	-	-	大規模な公園・緑地の未開設区	-	-
	拠点や骨格となるみどりの保全		-			= -		
みとりを	在来生物の生息・生育環境の保全	門上	-	-	-			-
活かす	公園・緑地の再整備	四上	-	-	-		-	-
	公園の運営管理	門上	-	-	-	公園の運営管理 みどりのまちづくり寛道の普	÷ ·	-
	みどりのまちづくり意識の普及・啓発 みどりが持つ多様な効果の活用	MIT	-	-	-	みどりのまちつくり意識の含 及・啓発 みどりが持つ多様な効果の活用	- -	-
	花とみどりの情報センターの充	DI-	_	_		花とみどりの情報センターの充	-	_
市民参	英	門上				実 みどりの人材育成		
南・協働	市民参画・協働によるみどりの	m r	_			かどりの人材育成 市民参画・協働によるみどりの	-	
みどりの	まちづくり推進組織の設立	ma is	-	-		まちづくり推進組織の設立	-	-
まちづく りを進め	みどりの助成制度の見直し	同上 同上	-	-	-	みどりの助成制度の見直し 市民参画・協働によるみどりの まちづくりの推進	-	-
8	みどりの調査と研究	門上	-	-	-	みどりの調査と研究	-	-
	「緑化推進基金」の有効活用	門上	-	=	-	「緑化推進基金」の有効活用	=	-

				令和6年度の実績			令和5年度の実績(参考)	
施策の柱	施第	担当空課	自己評價	令和6年度の実績及び評価の理由	傷考	施策	令和5年度の実績及び評価の理由	備考
個雑士な	公共施設の整備などにあたって の限観まちづくりにおける先導 的な役割の推進と民間開発事業 に対する誘導	都市計画室	Δ	令部4年4月に改定した課税まちづくり計画及び今部5年4月に改定した課務デザインマニュアル の満市が始まり、課款を与づくの書所に基づき、民間等報告等に対し設けな課節的本の活得 を行い、課態に応募したますづくの呼吸といる。また、公社研究の課務で出たっている。 環境の収集を与づくの心間を発います。近期や同様を設つている。 開業を与づく場所に近づく事間回途、当成が付金、386時(うち、発表が成市区165円)	景観まちづくり推進 事業		毎日44月に改ぜした開催を与づくり情報など争い5年日に改ぜした開催デザインマニュアルの原用が起 り、開発するがくめたによう。 民間等機等に対し自分では開催からの効果を行い、関連を づくりが起んでいる。また、2分間線の登場等に加くっては、元前的な開発をラブくのの変数を果たすよう達 野楽まってくり条何に高くく事前回路。最出受付付券~350円(35、累較市成初図163円) 野梨まってくり条何に高くく事前回路。最出受付付券~350円(35、累較市成初図163円)	
づくりの推進	市民、事業者などへの景観まち づくりに関する啓発や取組の支 援	都市計画室	Δ	吹田の原観度、いいでしょこのまち作品度及び運外広告物バネル機を開催し、原観まちづくり を推進している。	景観まちづくり推進 事業	市民、事業者などへの景観まち づくりに関する啓発や取組の支 援	吹田の景観展、いいでしょこのまち作品展及び極外広告物バネル機を開催し、景観まちづくりを推進している。	原観まちづくり推進事 業
	良好な景観の形成若しくは風致 の維持又は公衆に対する危害の 防止を目的とした屋外広告物の 規制・誘導	都市計画空	Δ	吹田市屋外広告物条例に基づく許可申請受付件数…514件		の維持又は公衆に対する危害の	令配4年4月から歴外広告物力イドライン及び令和5年4月から公共サインデザインカイドラインの運用が始ま り、段材な課題を形成し、公家への恋客を助止するため、吹田市歴外広告物条例に基づく規制・誘導を実施 し、製裁まちづくりを推進している。 吹田市歴外広告物表例に基づく同中研究付件数~472件	景観まちづくり推進事 業
	鉄道駅など公共交通機関に関わる施設などのバリアフリー化へ の支援	総務交通室	Δ	バリアフリー代政権を整備する公共又連接側である。 鉄道事業者に指助きを文付し、鉄道駅会 のパリアフリー化を支援した。 (令和6年度実績: JR吹田駅の可動式ホーム機設置に必要な補 助。) なお、 ノンステップバス導入に対し、補助金を文付する予算を確保していたが補助申請は無 かった。			/(リアフリー(松)機を整備する公共交通機関である。鉄道事業者に場合をを欠付し、鉄道駅舎の/(リアフリー 化を支援した。(今和5年度実施:30次田駅の可動式ホーム機設置に必要な補助。) なお、ノンステップ/(ス得入に対し、補助金を交付する予算を情保していたが補助申請に無かった。	交通バリアフリー化整 偏補助事業
	鉄道やバスの乗り継ぎなど公共 交通の利用に関する分かりやす い情報提供	総務交通室	0	が田市公共交遣マップ2024の作成:20,000節 うち約9歳を毎年私、2010億年、その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。転入者への 公共交遣マップの配布は、転入後の日常生活における自動車利用の即制と公共交遣の利用促進 を効果的に行うことを目的としている。		鉄道やバスの乗り継ぎなど公共 交通の利用に関する分かりやす い情報提供	映田市公共交通マップ2023の作成:20,000部 うち均字教教権年長入草にで配布。その他は、市内の主は駅、公共機能等で配布。転入者への公共交通マップ の配布は、転入後の日常生活における日動車利用の抑制と公共交通の利用促進を効果的に行うことを目的としている。	
	地域の実情に応じたコミュニ ティバスの運行など、交通環境 の充実化	総務交通室	0	令和3年度から令和5年度までの社会実験を経て、令和6年度より干量山地区でコミュニティバスを本格運行。令和6年度の年間乗車人員は、107,327人		地域の実情に応じたコミュニ ティバスの運行など、交通環境 の充実化	千畳丘地区で連行しているコミュニティバスの年間乗車人員が令和5年度は、新型コロナウィルスが5類感染 症となったこともあり、前年度に比して約10.8%増となっている。年間乗車人員:176,530人	コミュニティバス運行 事業
白動車に 過度に依 存しない 交通環境		総務交通室	Δ	市内12項32億所で自転車駐車場の運器、16億所で放置自転車対策を実施している。 毎年と比較し、移送自転車数は対象しているものの、歩行者等の歩行空間は維持されている。 (放置自転車等を対象)、今16年年第338台) (市営自転車駐車場収容可能台数:今80年度未現在18,205台)			市内は2013世界での自転車駐車場の設置業度及び自転車地震制止偏線等発の効果により、移攻される地震自 転車等が複貨に減少している。そのことにより、自転車や歩行者が安心して通行できる環境が整備されてきて いる。 (效面自転車等移送台数: 令和5年度3-503台) 作品自転車車場車場で同り配台数:今和5年度末現在19,451台)	総合的白転車対策事業
整備	歩行者・自転車が安心して歩	道路空	Δ	田市日転車利用環境整備計画中間見直しに基づき、自転車ネットワーク路線における自転車 行空間整備を実施した。 和6年復自転車連行空間整備延長(道路至施工分): 3.8km		歩行者・白転車が安心して歩	吹田市白転車利用環境整備計画中観見直しに基づき、白転車ネットワーク路線における白転車通行空間整備を 実施した。 令和5年度自転車通行空間整備延長(道路空施工分):4.2km	
	行・通行できるまちづくりの推	地域整備推進至	E -	事業終了により実績なし		行・通行できるまちづくりの推	事業終了により、実績なし。	
	進	環境政策室	0	市民、事業者、行政のパートナーシップのもと、「すいたクールアース大作戦」において、ガ ンパ大勝所属選手が入ったチラシ・ボスター等を活用し、「近くは歩いておでかけ」という キャッチフレーズにより、市民や事業者が身近にできる省エネ、節エネ活動について啓発を 図った。		進	市民、事業者、行政のパートナーシップのむと、「すいたクールアース大作権」において、ガンパ大阪所属選手が入ったチラシ・ポスター等を活用し、「近くは歩いておでかけ」というキャッチフレーズにより、市民や事業者が身近にできる者エネ、粒エネ活動について啓発を図った。	
		都市計画室	-	令和5年度に事業終了。実績なし。			事業終了により、実績なし。	
		計画調整室	Δ	国土交通省のHPや、国土交通省が主催する「全国街路空間再構築・利活用推進会議(要称:マ チミチ会議)」のメルマガ等を通じて、ウォーカブルなまちづくりに関する情報収集等を行った。			国土交通者のHPや、国土交通者が主催する「全国出路空間再構築・利活用推進会議(要称:マチミチ会議)」のメルマガ等を選じて、ヴォーカブルなまちづくりに関する情報収集等を行った。	
	市域の開発に対し、すまいる条	環境政策室	0	福埠士かてくり御留評価条件に基づき、福場御留評価報告会と開催し、(保険) 7度が3億、干 那者合任認定総理が主義権。(保険) とフリル収金体を工事、(会) 7度を2金22222222222222222222222222222222222	景観まちづくり推進 事業	市域の開発に対し、すまいる条	福達士から「影響所経過所に並う。 祖明歌神神楽術会を開催し、(保約)江郊村県、平田神舎信仰側 地元主義に収する (保約) 宛田山山間発寿業や、在井寺正土地区震歴世事業。(保約) 宛田千田丘 計画に毎る寿後河原の福延存を行った。 福瑞士からくウカイドライン (保身・経路制) を選用し、市内で開発や建築などを行めらとする事業者に対 し、福州への間径の対比が影響を持たり、	
慮した関	例や環境まちづくり影響評価条 例、環境まちづくりガイドライ ンなどの間連制度の適正な運用 による環境に配慮した建築物な	都市計画空	Δ	吹田市屋外広告物条例の運用により、屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進している。(吹田市屋外広告物条例に基づく許可申請受付件数514件)		例や環境まちづくり影響評価条 例、環境まちづくりガイドライ ンなどの間連制度の適正な運用 による環境に配慮した建築物な	映田市開墾まちづくり条例の選用により、快適な部らしの環境の前面に関する楽しい開観を推進している。 (映田市開建まちづくり条例に基づく事前協議・脳出受付件数550件) 吸田市樹外広告物条例の選用により、歴外広告物の表示等に関する基準を遵守し、原観まちづくりを推進して いる。 (映田市歴外広告物表例に基づく許可申請受付件数472件)	景観まちづくり推進事 業
	どの誘導	開発審査室	Δ	関発等展に関する予核条件を指定、選挙することにより、本朴の田様かく曲分別がは信頼のの場 係・金生、空をではは単年間後の地域をいても。主た、同様を実施しては当てきる。 に基づき申請のかった関発等展が開発すると呼吸できる。 を、安全では他域が中間のの他を急を必った。(64年度度 20 国、関発庁舎技術開発会議、5回)(64年度支援 大規模関発事業: 22日、中期間開発会議。5回) (84年度支援 (84年度 (どの誘導	期等事態に関する手段を向き起来、通用することにより、未市の目前すべき自分では自動の出生、4金、企 でおりままります。 に対していません。 1 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	